

# ちば子ども虐待防止研究会

すべては子どもの笑顔のために～守り・育み・社会へ～

JaSPCAN  
CHIBA



## 第2回研修会 家族と向き合う

講演「家族の暴力を防ぐために～DVと虐待の全体像を知る～」

信田さよ子先生（原宿カウンセリングセンター所長）

グループディスカッション「子どもを守るための保護者対応」

**会期** 2020年2月24日(祝)

**場所** 幕張メッセ国際会議場 JR京葉線 海浜幕張駅徒歩5分 東京駅から約30分  
JR総武線 幕張本郷駅から京成バス15分

**参加費** 無料

開始 12月1日(日)締切 1月31日(金)

以下の参加登録フォームまたはメールでお申し込みください

メール: chiba.kodomo\_ohendan@fuga.ocn.ne.jp

参加登録フォーム: <https://forms.gle/7UmPd4gX9PgEuhcc6>

メールでのお申し込みの場合(①氏名②所属③職種④午前・午後・両方参加の区分メールアドレス)を記載の上お申し込みください。参加をお断りする場合のみメールにてお知らせいたします。

参加登録



参加登録

主催

ちば子ども虐待防止研究会

お問合せ

ちば子ども虐待防止研究会 事務局

e-mail: npocapnet@yahoo.co.jp

# プログラム

🌀→ 10:00ー12:00

講演会

「家族の暴力を防ぐために～DVと虐待の全体像を知る～」



講師 信田 さよ子 先生 (公認心理師・臨床心理士、原宿カウンセリングセンター所長)

お茶の水女子大学大学院修士課程修了。駒木野病院勤務等を経て1995年原宿カウンセリングセンターを設立。

アルコールやギャンブルなどの依存症、摂食障害、ひきこもりに悩む人たちやその家族、ドメスティックバイオレンス、児童虐待の加害者・被害者、さまざまなハラスメントの加害者・被害者などのカウンセリングを行っている。

著書に「母が重くてたまらない」(春秋社)「DVと虐待」(医学書院)「母・娘・祖母が共存するために」(朝日新聞出版)「加害者は変えられるか」(ちくま文庫)など多数。最新著は「く性」なる家族」春秋社、2019年。

🌀→ 13:30ー16:30

グループディスカッション

「子どもを守るための保護者対応とは」

様々な子どもと家族に日々接している専門職の皆様と、保護者にどう向き合い、対応していくのかを一緒に考えていきたいと思います。



🌀→ ごあいさつ (ちば子ども虐待防止研究会 会長 金子重紀)

日本子ども虐待防止学会第23回学術集会ちば大会から2年が経とうとしています。ちば子ども虐待防止研究会は、この大会によって繋がった多職種の関係を千葉の虐待防止活動に活かせたらとの思いで当時の実行委員が集まり研修会を企画し活動しています。今回は、前回研修会の後に報道された野田の事件を踏まえて、「ファミリーバイオレンス」をテーマにした講演会と虐待対応を題材にしたグループディスカッションを企画しました。自己責任が強く問われる風潮の中、現場の私たちが当事者といかに向き合うべきかを考える場にしたいと思います。

私たちは、今後も千葉県内の虐待防止に関わる方々のスキルアップと連携の一助となるよう活動していきたいと思います。多くの方々がお参加いただきますようお願い申し上げます。

ちば子ども虐待防止研究会とは・・・

日本子ども虐待防止学会第23回ちば大会実行委員会が名称を変えて活動を続けています。講演会、シンポジウムを定期的開催し、県内の子ども虐待への支援者ネットワークの強化を進めていきます。